

脈々 スピリッツ 高蔵 魂

(創立者 市邨芳樹のことば)

「急がず たゆ 撓まず」

先へ先へと目がいき、遥かな道のりに
思いが走れば、それだけで心が萎える。
脇へ脇へと目が移り、あれもやらねば、
これもと課題が次々に浮かんでくれば、
取りかかる前から疲れを覚えてしまう。

「どんなものにも終わりは有り、どん
なことにも限りはある」と一つ又一つと
取りかかれ。「九割を以て半ば」の気持ち
で臨めば、混乱も易く通り抜けられる。

困難を避けず こうとう 苟偷を求めず、労苦を厭はず、
安逸を貪らず、物に役せられず、人に到らさ
れず、能く よ 其の信ずる所を行ひ優に其の天職
を楽しむ。 (「藪椿」 1 - 10)